

平成28年 6月 6日

# 生命システム科学特別講義

下記のとおり招聘講師による生命システム科学特別講義「分子生命科学」を開催いたしますので、受講大学院生以外にも興味のある方は（学部生も可）ご参集くださいますようにご案内申し上げます。

## 記

日 時：平成28年 7月 4日（月曜日）

4限目（午後2時40分～午後4時10分）

場 所：庄原キャンパス2302講義室

遠 隔：広島キャンパス2313講義室

三原キャンパス1101講義室

講 師：エーザイ株式会社（執行役員）

ファーマシューティカル・サイエンス&テクノロジー機能ユニット プレジデント

内藤 俊彦（Toshihiko Naito）

## —新薬開発におけるCMC研究（物質の特性解析・製造技術開発・品質管理）の魅力—

CMC (Chemistry, Manufacturing and Control)

医薬品の実体は言うまでも無く（有機）化合物です。薬理スクリーニングと安全性研究を経て選出された候補化合物は、更なる臨床・非臨床研究を経て有効性と安全性が確立されたものだけが、当局による厳密な審査を経て新薬として患者様へ届けられる日を迎えます。CMC研究とは候補化合物の物理化学的特性を解明し、原薬（化合物）の効率的（経済的）且つ大量合成可能な製造法を開発し、安定で服用しやすく、吸収されやすい剤形を確立し、0.1%レベルでの品質の同等性を保証しつつ臨床研究の初期から商業生産にいたる開発研究を支えてゆく、かなり広範な技術基盤を必要とする研究領域です。本講義ではその研究の概要と面白さをご紹介しますと共に、製薬企業の社会的責任や創薬の魅力についてお話ししたいと思います。

連絡先：庄原C（5303）達家雅明  
ゲノム制御システム生物学（オーロラ）研究室